

山口県指定無形民俗文化財

6月27日、山口県指定無形民俗文化財である「なむでん踊り」の奉納が、久賀の久屋寺で行われました。

これは、江戸時代から続く虫送りの行事で、昭和49年に県指定の文化財となり、永くなむでん踊り保存会を中心に活動していましたが、過疎化の影響により平成18年を最後に町内を巡回する奉納踊りは中断していました。その後、平成27年になむでん踊り保存会や関係者の皆さまのご尽力により復活しました。

今年は、あいにくの天気の中での開催とはなりましたが、五穀豊穡と無病息災を願い奉納された踊りは、躍動感に溢れていました。



▲久屋寺での「なむでん踊り」の様子

環境にやさしい燃料で、まちを走る

6月19日、西日本で初となる、公用車への「カーボンオフセット燃料」の導入が始まり、供給証明書授与式が行われました。

この燃料は、使用時に出るCO₂を植林などで相殺する仕組みで、「使った分を森を育てることで地球にお返しする」という考え方に基づいています。

式典では、出光興産株式会社 中国支店の鈴木崇広支店長から藤本浄孝町長へ証明書が贈呈されました。今後、町内の小松物産株式会社を通じて給油されます。

町長車やごみ収集車でのご使用が、未来へのはじめの一步。町は一丸となり、脱炭素社会という大きなゴールを目指します。



▲出光興産株式会社 鈴木崇広中国支店長㊟と藤本浄孝町長

熱中症を予防しましょう

熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもることによってさまざまな症状がみられる状態をいいます。屋外だけでなく室内でも何もしないときでも発症し、場合によっては死亡することもあります。

ますます暑さが厳しくなるこれからに備え、対策をとり、熱中症を予防しましょう。

《暑さを避ける工夫》

- (1) エアコン等で温度をこまめに調節しましょう。
- (2) 遮光カーテン・すだれの利用、打ち水をしましょう。
- (3) 吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用しましょう。
- (4) 外出時には日傘を使用したり、帽子を着用したりしましょう。
- (5) 天気の良い日は、日陰の利用やこまめな休憩をしましょう。
- (6) 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、体を冷やしましょう。

《こまめに水分補給》

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じる前に水分を

補給しましょう。

※水分や塩分の制限がある場合は、主治医の指示に従いましょう。

《熱中症の症状》

めまい、立ちくらみ、大量の発汗、筋肉痛、筋肉のこむら返り、頭痛、嘔吐、倦怠感など
※熱中症が疑われる場合は、すぐに応急処置を行いましょう。

《熱中症が疑われる人を見かけたら》 主な応急処置

- (1) エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させましょう。
- (2) 衣服をゆるめ、体を冷やしましょう。(首の周り、脇の下、足の付け根など)
- (3) 水分・塩分、経口補水液などを補給しましょう。

※自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、ためらわずに救急車を呼びましょう。
参考…熱中症予防のために(厚生労働省)

問い合わせ

健康増進課 健康づくり班
☎ 0820 (73) 5504